

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	母子保健(歯科保健含む)	コード	作成者	役職	保健課長
		02-02-01		氏名	有吉隆之
			電話	64-1819	
			このシート作成に要した時間		1.0 時間

この施策の アピール ポイント	法律の規定や補助により各種健診や予防接種事業を実施している。市独自事業として、主に言語発達等が気になる就学前の幼児や保護者を対象にマザースクール事業を実施している。
-----------------------	--

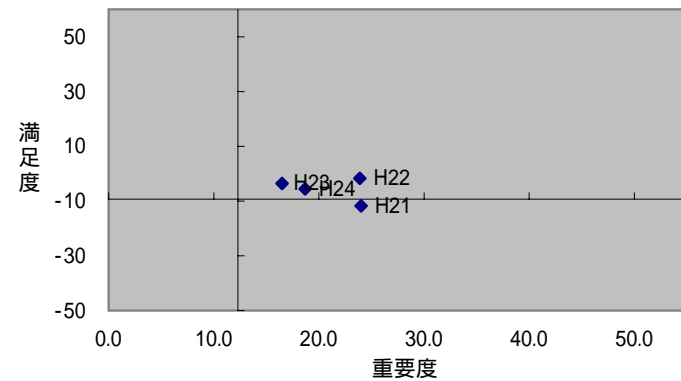
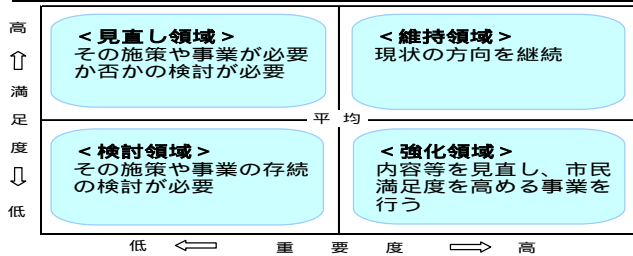
この施策の 平成23年度の 施政方針	妊娠中必要とされている14回の妊婦健診の助成に加えて、HTLV-1(ヒトT細胞白血病ウイルス1型)抗体検査やクラミジア抗原検査の助成を開始し、妊婦の健康管理の充実を図るとともに、特定不妊治療に対する助成も引続き行い、妊娠・出産に係る経済的負担の軽減を図ってまいります。また、すこやか相談室での相談事業や生後4ヵ月までに全乳児の家庭訪問を保健師が実施するなど、安心して出産・育児ができるよう支援してまいります。さらに、乳幼児健診については、各種の専門職を配置した精度の高い健康診査を毎月実施し、必要に応じてマザースクール(発達促進教室)等で対応し、心身の健やかな発達に必要な支援を実施してまいります。
--------------------------	---

< 備前市総合計画の内容から記載する >

政策の体系	基本目標(大項目)	健康でやさしさあふれるまちづくり
	基本施策(中項目)	やさしさあふれるまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	市民が安心して子どもを産み育てるようにする。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	少子化傾向が強まる中、公衆衛生の向上や医療技術の進歩により、多くの病気を治せるようになってきた。しかし、家庭や地域における子育て機能の低下、児童虐待の増加、肥満に関連した生活習慣病の出現など新たな問題も発生している。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 一貫した母子保健の推進(母子健康手帳交付、育児相談事業、妊婦及び乳幼児の健康診査、乳児全戸訪問など) 感染症予防(予防接種) 生活習慣病予防(食育) 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H21	H22	H23	H24
重要度(%)	24.0	23.9	16.5	18.7
満足度(%)	- 11.8	- 1.7	- 3.6	- 5.6



調査結果に対するコメント、市民の反応等	安心して子育てができる環境を多くの市民が望んでいる。住みよいまちとは、家庭や地域に教育力があるところと多くの市民が認識している。「安心して子どもを産み育てることができる」と感じている市民の割合は、H21年12.4%、H22年17.4%、H23年20.2%と漸増していたが、H24年16.2%と低下した。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

成果指標	施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
			H21	H22	H23		H24	H25
乳幼児健診受診率	目標	%	90.0	90.0	90.0	受診者数/検診対象者数	H24	95.0
	実績	%	84.8	84.4	86.0	1歳食事体験は市の独自事業であり、市の受診率には入っているが、県には入っていない。	H28	95.0
	達成率	%	94.2	93.8	95.6		-	-
	ベンチマーク		85.9	86.8		岡山県の受診率	-	-
3歳児検診時麻疹接種率	目標	%	95.0	95.0	95.0	3歳児のうち麻疹接種者数/3歳児数	H24	95.0
	実績	%	98.0	95.5	95.8		H28	95.0
	達成率	%	103.2	100.5	100.8		-	-
	ベンチマーク		96.3	95.6		岡山県の3歳児麻疹接種率	-	-
3歳児肥満率	目標	%	2.0	2.0	2.0	3歳児のうち肥満児数/3歳児数	H24	2.0
	実績	%	5.0	5.9	8.0		H28	2.0
	達成率	%	250.0	295.0	400.0		-	-
	ベンチマーク		5.9	5.3		岡山県の3歳児肥満率	-	-
3歳児朝食欠食率	目標	%	10.0	10.0	10.0	3歳児のうち朝食欠食者数/3歳児数	H24	10.0
	実績	%	7.5	10.5	12.9		H28	10.0
	達成率	%	75.0	105.0	129.0		-	-
	ベンチマーク						-	-

目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
保育園・幼稚園	乳幼児健康診査事業・予防接種事業	要観察児のフォロー
中央公民館	ブックスタート事業	4ヶ月健診時に読み聞かせ

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い				
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)				
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	妊娠期から就学前までの各期に応じて事業を実施しているが、健診受診率は一番の基礎となる指標である。				
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	4	妊娠期から就学前までの各期に応じた事業構成としている。				
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	乳幼児期の健康サポート体制は、利用しやすさを基準に企画している。				
進行年度(H24年度)の取組内容(課題解決状況)		国庫補助制度の変更に伴う妊婦乳児健康診査の公費負担の検討 子宮頸がん等ワクチン接種事業が補助事業として開始されたが、今後の補助制度変更に伴う公費負担等の検討 マザースクール事業のあり方、体制について関係者で協議し、連携を図る。 今後予想される任意予防接種等の取扱変更について、情報を入手し、対応を検討する。 不育治療に対する助成について検討する。				
翌年度(H25年度)の取組目標		予防接種の内、定期接種となっているもの及び補助対象となるものについて、広報等で動員し、接種率の向上を図る。 マザースクール事業について関係者と連携を図る。				
二次評価者コメント		母子保健事業は、市民が行政サービスを受けるスタートになるので、信頼関係を築く大切な事業である。各種事業の実施にあたっては、安心して利用でき、気軽に相談ができるよう引き続き努めてください。				基本施策への貢献度 3 中立
役職	保健福祉部長					
氏名	金光 亨					

